



補習校だより

平成26年度 第25号

平成26年10月25日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

土曜日 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

学校給食

校長 永井 晋

今、日本の小中学校の給食が見直されています。学校給食は1950年代にもともとは欠食児童対策として始められ全国に広がりました。現在も自治体によって考え方は様々です。私がマイアミに来る前に勤めていた町田市では中学校は給食がありませんでした。小学校は多くの学校で給食がありますが、以前は自校方式といって各学校の給食室で作られることがほとんどでした。しかし、いつの頃からか、センター方式といい、2～5校程度の学校に1つ給食センターで給食を作って各学校に配る方式が多くなりました。主なメリットは経費を安く抑えられることです。しかも、公立学校でも民間委託をし、コスト重視の給食が多くなったこともありました。

しかし、平成17年頃からいわゆる「食育」が見直され、「子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくためには何よりも食が重要である」と言われるようになりました。そしてここにきてさらに給食の見直しが図られるようになってきています。食の安全性や健康、身体の育成が注目され、地産地消の重要性も叫ばれる中、センター方式の給食から、わざわざ学校内に一度は壊された給食室を作り直し、自校方式で子供たちのことを第一に考えられた給食を提供するようになってきています。つまりやはり「食」は子供たちの成長にとって重要であるということに他ならないのです。

これはもちろん家庭でも同じことが言えるのです。お子様の成長と健康のためにおいしくて安全でバランスの良い食事をお願いします。

